

「事業者向け」 放課後等デイサービス自己評価表

【かも(ホップ)】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			玩具部屋と活動部屋を分けています。子ども達にとっても分かりやすい空間になっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者1名、介護福祉士2名、障害者サービス経験者1名を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		現在は正規職員が中心となって行なっています。今後はパート職員とも行なっていこう工夫します。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成30年度の計画に組み込み、取り組んできました。ご利用者評価と合わせてご確認下さい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			平成30年2月に京都社会福祉士会で受診しました。今後の業務改善に生かしていきます。また、ご利用者評価も実施し、役立てていきます。
適切な 支援の 提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の学習会、外部研修受講後の内部報告会、職員全体研修などを実施しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		簡易アセスメントを行ない、支援計画に生かしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールを活用する準備を整えました。次年度に活用していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月間で季節に合わせた活動を工夫しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		大切に固定化して継続しているものもあれば、色々な活動にもチャレンジしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか			○	通年で目標にそって支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の創作、音楽活動の他、集団遊び、調理実習など工夫しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			ミーティングを行う努力をしているが、送迎体制上、できない日もあります。今後の課題として改善していきます。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ケース記録の記入とともに、振り返りのミーティングを必ず行い、情報共有を行なっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画作成時に、記録を活用できるように記録しています。
関係機関 や保護者 との連携 関係機関 や保護者 との連携	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		次年度の意向面談を行い、相談をしています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			創作、調理、音楽、運動、基本生活動作の向上等の支援を取り入れています。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の担任の先生と送迎引継ぎ時に情報共有を行なうよう努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受け入れ体制がないので、ご利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援専門員を通じて、情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		依頼に応じて行う準備はありますが、相談支援専門員を通じての連携の方が多いです。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
関係機関 や保護者 との連携	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時には、日常の様子を保護者と情報共有することを行なっています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	当法人では、相談支援センターがこの役割を担っています。職員は、研修としてペアレント・トレーニングの手法を学んでいます。

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		年1回の契約時に説明を行なっています。
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談を年2回実施し、必要な情報共有を行なっています。その他、必要に応じて面談を行なっています。
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	土曜活動で家族交流会を年2回行っており、活動への参加を促しています。 (きつ第二事業所)
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○	苦情をお聞きした場合には、迅速な解決に向けて対応を行なっています。苦情の周知は行なっていません。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		年4回程、季刊誌を発行しています。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○		
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	おもちゃの活動は地域に配るなど、交流を図っています。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		個別対応、事故対応、防災対応、感染症対応などのマニュアルを策定しています。また、感染症マニュアルは、保護者へも周知しています。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練の他、防災センターへ出かけて児童と学ぶ活動を行っています。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内で人権研修を年2回行っています。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		個別支援計画にやむを得ず行動制限を行なうことがある旨を記載し、同意をいただいています。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者を通じて、情報を集めています。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	うまく活用出来ていませんので、今後の取り組みの課題としていきます。

【かも第二(ジャンプ)】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動室とおやつを食べる、調理をする部屋を分けています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者、ヘルパー、保育士、障害者福祉経験者を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			木津川市加茂支所を借用しており、エレベーターが設置されています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			正規職員とパート職員が常にミーティングを行い、取り組んでいます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			平成30年度から取り組みを始めています。今後、結果を検討し、必要な改善を行っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	ご利用者評価を実施し、今後の活動に役立てていきます。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の学習会、外部研修受講後の内部報告会、職員全体研修などを実施しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		個別のデイサービス計画の作成を行っています。今後はアセスメントツールを使用し、改善していくべく、現在、取り組んでいます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールを作成し、活用する準備を整えました。次年度に活用していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月間で作成しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		大切に固定化して継続しているものもあれば、色々な活動にもチャレンジしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			通年の目標の他、月目標、長期休暇目標を定め、支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の創作、音楽活動の他、集団遊び、調理実習、地域清掃など工夫しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事前に必ずミーティングを実施しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ケース記録の記入とともに、振り返りのミーティングを必ず行い、情報共有を行なっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画作成時に、記録を活用できるように記録しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		次年度の意向面談を行い、相談をしています。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			創作、音楽、外遊びなど様々な活動に取り組んでいます。	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		毎回の送迎時、担任の先生とは必ず引継ぎを行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		受け入れ体制がないので、ご利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援専門員を通じて、情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		依頼に応じて行う準備はありますが、相談支援専門員を通じての連携の方が多いです。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			毎回、必ず出席し、情報共有や事業所間交流を行っています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時には、日常の様子を保護者と情報共有することを行っています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		当法人では、相談支援センターがこの役割を担っています。
保護者への説明責任等	③①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			年度初めの面談で、確認しています。
	③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談を年2回実施し、必要な情報共有を行なっています。その他、必要に応じて面談を行なっています。
	③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		土曜活動で家族交流会を年2回行っており、活動への参加を促しています。(きづ第二事業所)
	③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情をお聞きした場合には、迅速な解決に向けて対応を行なっていますが、子供や保護者に周知する所までは行なっていません。
	③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年4回程、季刊誌を発行しています。
	③⑥	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		おもちゃの活動は地域に配るなど、交流を図っています。
非常時等の対応	④③	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			個別対応、事故対応、防災対応、感染症対応などのマニュアルを策定しています。また、感染症マニュアルは、保護者へも周知しています。
	④④	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練の他、防災センターへ出かけて児童と学ぶ活動を行っています。
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内で人権研修を年2回行っています。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画にやむを得ず行動制限を行なうことがある旨を記載し、同意をいただいています。
	④⑦	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者を通じて、情報を集めています。
	④⑧	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			うまく活用出来ていませんので、今後の取り組みの課題としていきます。

【きづ(わか)】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1部屋を最大限に活用できるように、使わない道具は倉庫に片づけるなどの工夫をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		児童発達支援管理責任者、障害福祉経験者を配置しています。法人内の他事業所から曜日固定で、パート職員の配置を行なっています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		木津川市の療育教室を借用しているため、充分ではありませんが、アイデアで工夫しています。

業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		職員間で常にミーティングを行い、取り組んでいます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○	平成30年度から取り組みを始めています。今後、結果を検討し、必要な改善を行っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	ご利用者評価を実施し、今後の活動に役立てていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月の学習会、外部研修受講後の内部報告会、職員全体研修などを実施しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別のデイサービス計画の作成を行っています。今後はアセスメントツールを使用し、改善していくべく、現在、取り組んでいます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	アセスメントツールを作成し、活用する準備を整えました。次年度に活用していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		月間で作成しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○	大切に固定化して継続しているものもあれば、色々な活動にもチャレンジしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		○	通年の目標の他、月目標、長期休暇目標を定め、支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別の創作、音楽活動の他、集団遊び、調理実習、地域清掃など工夫しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		事前に必ずミーティングを実施しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ケース記録の記入とともに、振り返りのミーティングを必ず行い、情報共有を行なっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別支援計画作成時に、記録を活用できるように記録しています。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○	次年度の意向面談を行い、相談をしています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	○		創作、音楽、外遊びなど様々な活動に取り組んでいます。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		毎回の送迎時、担任の先生とは必ず引継ぎを行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	受け入れ体制がないので、ご利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	相談支援専門員を通じて、情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	依頼に応じて行う準備はありますが、相談支援専門員を通じての連携の方が多いです。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		毎回、必ず出席し、情報共有や事業所間交流を行っています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		連絡帳や送迎時には、日常の様子を保護者と情報共有することを行なっています。
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	当法人では、相談支援センターがこの役割を担っています。	

保護者への説明責任等	⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		年度初めの面談で、確認しています。
	⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		面談を年2回実施し、必要な情報共有を行なっています。その他、必要に応じて面談を行なっています。
	⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	土曜活動で家族交流会を年2回行っており、毎回好評を得ています。
	⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情をお聞きした場合には、迅速な解決に向けて対応を行なっています。苦情の周知は行なっていません。
	⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		年4回程、季刊誌を発行しています。
	⑮	個人情報に十分注意しているか	○		
	⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	おもちゃの活動は地域に配るなど、交流を図っています。
非常時等の対応	⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	個別対応、事故対応、防災対応、感染症対応などのマニュアルを策定しています。また、感染症マニュアルは、保護者へも周知しています。
	⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練の他、防災センターへ出かけて児童と学ぶ活動を行っています。
	⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		法人内で人権研修を年2回行っています。
	㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		個別支援計画にやむを得ず行動制限を行なうことがある旨を記載し、同意をいただいています。
	㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	保護者を通じて、情報を集めています。
	㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		うまく活用出来ていませんので、今後の取り組みの課題としていきます。

【きづ第二(ステップ)】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			個別でも過ごせるように2部屋を活用しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達支援管理責任者、障害福祉経験者を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			入口にスロープを設置しています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			正規職員が中心となり、PDCAサイクルで業務を進めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	平成30年度から取り組みを始めています。今後、結果を検討し、必要な改善を行っていきます。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	ご利用者評価を実施し、今後の活動に役立てていきます。
適切な支援の提供	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			毎月の学習会、外部研修受講後の内部報告会、職員全体研修などを実施しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別のデイサービス計画の作成を行っています。今後はアセスメントツールを使用し、改善していくべく、現在、取り組んでいます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	アセスメントツールを作成し、活用する準備を整えました。次年度に活用していきます。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月間で作成しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		大切に固定化して継続しているものもあれば、色々な活動にもチャレンジしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか		○		通年で目標にそって支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の創作、音楽活動の他、集団遊び、調理実習、地域清掃などを取り入れて工夫しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事前に必ずミーティングを実施しています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			ケース記録の記入とともに、振り返りのミーティングを必ず行い、情報共有を行なっています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個別支援計画作成時に、記録を活用できるように記録しています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			次年度の意向面談を行い、相談をしています。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			創作、音楽、外遊びなど様々な活動に取り組んでいます。	

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		毎回の送迎時、担任の先生とは必ず引継ぎを行っています。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	受け入れ体制がないので、ご利用はありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		相談支援専門員を通じて、情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		依頼に応じて行う準備はありますが、相談支援専門員を通じての連携の方が多いです。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			毎回、必ず出席し、情報共有や事業所間交流を行っています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時には、日常の様子を保護者と情報共有しています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	当法人では、相談支援センターがこの役割を担っています。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			年度初めの面談で、確認しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			面談を年2回実施し、必要な情報共有を行なっています。その他、依頼や必要に応じて面談を行なっています。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	土曜活動で家族交流会を年2回行っており、毎回好評を得ています。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情をお聞きした場合には、迅速な解決に向けて対応を行なっています。苦情の周知は行なっていません。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年4回程、季刊誌を発行しています。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
非常時等の対応	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	おもちゃの活動は地域に配るなど、交流を図っています。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	個別対応、事故対応、防災対応、感染症対応などのマニュアルを策定しています。また、感染症マニュアルは、保護者へも周知しています。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回の避難訓練の他、防災センターへ出かけて児童と学ぶ活動を行っています。
	㉚	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内で人権研修を年2回行っています。
	㉛	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画にやむを得ず行動制限を行なうことがある旨を記載し、同意をいただいています。
	㉜	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者を通じて、情報を集めています。
㉝	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	うまく活用出来ていませんので、今後の取り組みの課題としていきます。	